

4

地域産業が発展する津山へ

●地域内サプライチェーンの構築

- つやま産業支援センター
 - 企業の生産性向上へデジタル化、自動化への投資を後押し
 - 専門家派遣制度で「メイドイン 津山」「津山ファニチャー」のブランドを強化



●産業支援センターによる チャレンジ企業支援

- 創業者育成と創業ネットワークの形成
 - 「T-スタ」を核とする
津山信用金庫、津山商工会議所
作州津山商工会、津山市による連携
- C'snet(シーズネット)設立(R4)
 - 地域のクリエイターのマッチングと
スキルアップを目的とする人材ネットワーク

「地域DX推進ラボ」第一選
選定証授与式



経済産業省による
第1回
選定団体に認定
中国地方では
他に
鳥取県のみ

●森林環境譲与税を活用した木材利用・普及啓発

- 地域材を利用した住宅等への補助制度
 - リフォーム補助金を拡充 市産材使用で最大100万円に
県の補助も加えると132万円(R7～)

●地域商社「曲辰」を核とした農業ビジネスモデルの構築

- 新商品の開発など地域農産物の活用へ
 - 新商品のふるさと納税登録
ふるさと定期便での販売

●つやま和牛販売促進事業の創設

- つやま和牛
創出基金を増額
- つやま和牛
創出貨付事業を創設



5

将来を見据えた人材育成を進める津山へ

●高校生・大学生などのまちづくり参加支援

- 美術大学・津山高専による地域課題をテーマにした
教育研究活動の支援
- 市内高校の生徒による地域学習事業等への職員派遣
 - 県立4高校連携事業や
津山東高校「SIM津山プロジェクト」への職員派遣

●「津山まちなかカレッジ」を中心とした 産業人材へのリカレント教育の充実

●公民館の利活用の促進と機能の充実

- 地域の生涯学習拠点である公民館を整備
 - 佐良山公民館、大崎公民館、
河辺公民館を順次整備



佐良山公民館(R7.3完成)

6

多様な教育機会が得られる津山へ

●小中学校における環境整備

- エアコン未設置の特別教室を解消へ
 - 小学校13校
中学校4校(R7年度全小中学校完了)
- 小中学校をはじめとした
道路の安全対策
 - 市道56か所を鋭意対応中(R7年度 歩道整備などに予算4.3億円)



●「GIGAスクール」構想の推進

- 小中学校のICT環境整備を前倒し実施(R1 市内全校に整備)
 - 1人に1台の学習用端末(パソコン)
 - 全小中学校に専用光回線(R7)

●地域とともにある学校「コミュニティスクール」の推進 (R6 全小中学校で導入)

●確かな学力向上

- 教師業務アシスト員・部活指導員・英語強化支援員を
市内全小中学校に
- 管理職OBを学校経営・教育相談・学校運営のアドバイザーとして配置
- 学力調査で小学校全体が全国・岡山県平均を上回る結果(R5年度)

●不登校やいじめ、引きこもり児童・生徒への対応

- 実態に配慮した特別な教育を行う「学びの多様な学級」設置へ(R8)

●スポーツ施設の整備と プロスポーツイベントの誘致推進

- 久米市民プールの整備(R8完成予定)
津山スポーツセンターサッカー場の
人工芝全面リニューアル(R7)
加茂町スポーツセンター体操練習場の
空調設備設置 など
- プロスポーツチームの試合やスポーツ教室を誘致



久米市民プール(R8完成予定)

7

歴史と文化に誇りを持ち、観光都市として発信する津山へ

●観光客250万人の実現へ交流人口増加に向けた 観光イベントの開催

- 「春はつやま」を印象づける魅力あるイベント
 - 「津山さくらまつり」はR4～7の4年連続で来場者10万人超え

- 「まなびの鉄道館」の
入館者50万人超え
(H28.4開館～R6.11)
- 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」での
津山市来場者数24万人(R6)
- 市内6か所に
多言語デジタルサイネージを
設置(R4～6)



津山さくらまつり10万人が来場

●台湾をはじめとした外国人観光客の誘致

- 「台湾彰化市と観光交流における友好協力に関する協定」締結(R5)
 - 彰化市の訪問団が加茂中学校生と交流(R6)
 - 彰化市長が来津し「相互交流促進に関する共同宣言」(R6)

●歴史文化の保存と活用

- 「津山洋学」をキーワードとしたシティプロモーション
- 「蘭学・洋学三津同盟
(中津市・津和野町・津山市)」による
連携事業を推進
- 文化財・歴史遺産を活用した観光まちづくり
 - 城東地区に続き城西地区も
重要伝統的建造物群保存地区に選定



三津同盟締結調印式